

エコアクション21

# 環境活動レポート



対象期間 2019年4月～2020年3月

発行日：2020年6月1日



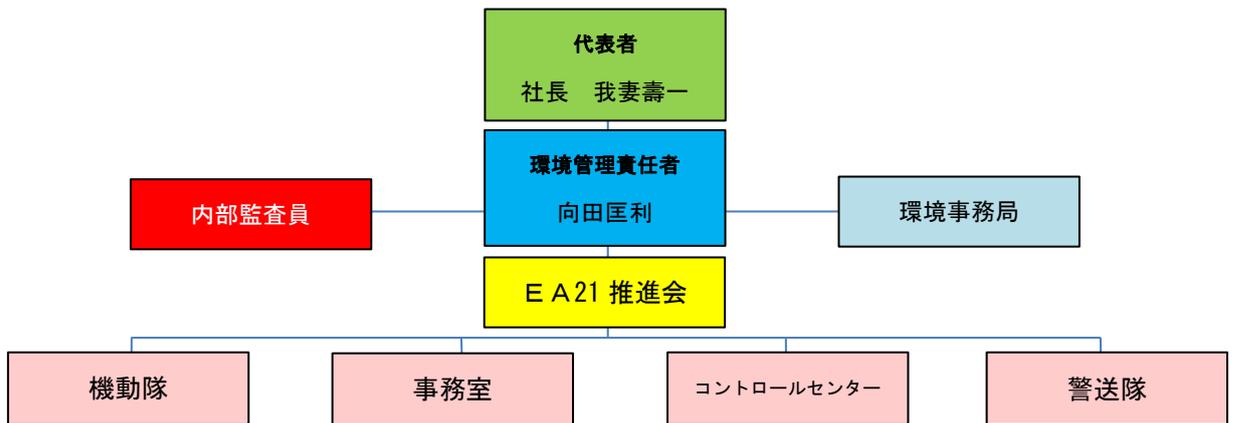
山形警備保障株式会社

## 目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲と対象取組期間
3. エコアクション21実施体制
4. 環境経営方針
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営目標の実績と評価
8. 環境経営計画の取組結果とその評価  
次年度の取組内容
9. 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果
10. 代表者による全体評価と見直しの結果



### 3. エコアクション21実施体制



	役割・責任・権限
代表者 社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統治責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>実施体制を構築する</li> <li>経営における課題とチャンスを整理し、明確にする</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ票を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管</li> </ul>
内部監査人	<ul style="list-style-type: none"> <li>全般の評価</li> </ul>

全従業員は環境方針と環境への取り組みの重要性を自覚し決められたことを守り、自主的積極的に環境活動へ参加する。

## 4. 環境経営方針

# 環 境 経 営 方 針

### 基本理念

山形警備保障株式会社は、「お客様に大きな安心を」を基本理念に、機械警備業務、施設警備業務、交通誘導業務、現金輸送業務等の事業活動をする中で、電気、石油類及び紙類などのエネルギーや資源の消費、さらに各種廃棄物の発生を伴います。私たちは、地球環境の保全が企業経営の最重要課題であると位置づけ、環境マネジメントシステムを導入し、環境負荷削減を目的とした継続的な取り組みを実施します。

### 行 動 指 針

- 1.エコドライブの実践や省エネ等により、  
二酸化炭素排出量の削減目標を定め削減に取り組みます。
- 2.環境関連の法律、規則、条例及びその他の決まりを遵守します。
- 3.適切な廃棄物の分別を行い、廃棄物の削減に取り組みます。
- 4.水資源の有効利用のため、節水に取り組みます。
- 5.環境マネジメントシステムの構築・維持とすべての従業員への環境教育、  
社内啓発活動を実施します。
- 6.地域の環境保全に努めます。

平成 25 年 10 月 1 日制定

平成 29 年 5 月 1 日改定



山形警備保障株式会社

代表取締役社長 我妻 壽一

## 5. 環境経営目標

### 5-1. 環境経営目標の策定

当社は、昭和43年6月に株式会社山形ビルサービスの警備部門として設置され、翌年44年7月に会社として独立いたしました。ビルメンテナンス業である親会社の山形ビスサービスではすでにISO14001を取得しておりますが、当社としては、温暖化防止、環境負荷の低減に取り組んでまいります。

目標の策定においては、2017年度を基準とすることにしました。

### 5-2. 環境経営目標（短期・中長期）の設定

	単年度目標	中長期目標		
	2019年度 (2019年4月～2020年3月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	2022年度 (4月～3月)
二酸化炭素 排出量	2017年度4月-3月比 1.5%削減	2017年比 2.0%削減	2017年比 2.5%削減	2017年比 2.5%削減
廃棄物 排出量	2017年度4月-3月比 1.5%削減	2017年比 2.0%削減	2017年比 2.5%削減	2017年比 2.5%削減
総排水量 (水使用量)	2017年度4月-3月比 1.5%削減	2017年比 2.0%削減	2017年比 2.5%削減	2017年比 2.5%削減
製品及びサー ビスに関する 目標（ガソリ ン使用削減）	2017年度4月-3月比 1.5%削減	2017年比 2.0%削減	2017年比 2.5%削減	2017年比 2.5%削減
グリーン購入 の推進	事務消耗品 90%以上	事務消耗品 90%		
地域環境保全 への協力	地域の清掃活動 1回/月	地域の清掃活動継続		

## 6. 環境経営計画

### 6-1. 二酸化炭素排出量の削減

#### 1) 消費電力の削減

- ・室温は、暖房期 20℃、冷房期 28℃で管理する
- ・定期的にエアコンのフィルターを清掃する
- ・ unnecessary 照明は消す
- ・照明器具 LED 化

#### 2) ガソリン・軽油使用量の削減

- ・エコ運転の教育研修
- ・アイドリング停止の徹底
- ・タイヤの空気圧を定期的に調整する
- ・車両点検などで運行記録を把握する
- ・経済速度の遵守

#### 3) その他化石燃料の削減

- ・定期的にファンヒーターのフィルターを清掃する
- ・室温は、暖房期 20℃で管理する
- ・ウォームビスの実施

### 6-2. 廃棄物排出量の削減と適正管理

#### 1) 一般廃棄物の削減（リサイクルの推進）

- ・分別ルール確立と周知徹底
- ・廃棄物置場のリニューアル
- ・コピー用紙削減（両面コピー・裏紙利用の徹底）

#### 2) 産業廃棄物の適正管理

- ・保管場所の管理
- ・マニフェスト・契約書類の管理
- ・委託先の状況確認

### 6-3. 総排水量の削減

#### 1) 水道使用量の削減

- ・トイレ流水量の調整
- ・手洗い時の節水（掲示）

#### 2) 地下水の適正利用

- ・水量の調整

#### **6-4. グリーン購入**

- ・グリーン購入ネットワーク（GPN）商品（エコ商品）の選定
- ・事務消耗品のエコ商品購入率の把握
- ・車両・設備・機械等購入時のルール確立

#### **6-5. 山形 EA21 関連**

- ・会社周辺道路のごみ拾い、側溝清掃、草刈りなどの実施

## 7. 環境経営目標の実績と評価

	2017年度 実績（基準値）	2019年度			
		目標値	実績	基準値 増減率	評価
■二酸化炭素排出量	270,568 kg-CO2/年	2017年度比 1.5%削減 266,509 kg-CO2/年	242,438 kg-co02/年 (-28,130)	-10.4%	◎
・電気使用量	111,058 kwh/年	2017年度比 1.5%削減 109,392 kwh/年	111,891 kwh/年 (+833)	+0.75%	△
・軽油	4,556 L/年	2017年度比 1.5%削減 4,488 L/年	4,450 L/年 (-106)	-2.3%	○
・ガソリン	73,939 L/年	2017年度比 1.5%削減 72,830 L/年	62,237 L/年 (-11,702)	-15.8%	◎
・灯油	6,664 L/年	2017年度比 1.5%削減 6,564 L/年	7,672 L/年 (+1,008)	+15.7%	×
・LPG	267 kg/年	2017年度比 1.5%削減 263 kg/年	230 kg/年 (-37)	-13.8%	◎
■総排水量 (水使用量)	455 m3/年	2017年度比 1.5%削減 448 m3/年	416 m3/年 (-39)	-8.5%	○
■一般廃棄物排出量	819 kg/年	2017年度比 1.5%削減 807 kg/年	567 kg/年 (-252.6)	-30.8%	◎
■産業廃棄物	2,315 kg/年	2017年度比 1.5%削減 2,280 kg/年	1,177 kg/年 (-1,138)	-49.1%	◎
■グリーン購入の 推進	90%以上	事務消耗品 90%以 上を掲げる予定	—	—	—
■地域環境保全へ の協力	地域の清掃活動 8回/年	2017年同様継続	地域の清掃活動 8回/年		◎

※ ◎…-10%以上 ○…-10%未満～0%以上 △…0%未満～+10%未満 ×…+10%以上

※電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力の2016年度の値（0.553kg-CO2/kwh）を使用。

## 7-1. 二酸化炭素排出量

### 1) 全体（目標：1.5%削減）

二酸化炭素排出量（軽油・ガソリン含む）は、目標基準値に対し10.4%減少いたしました。ガソリン・LPG・廃棄物の消費減が主要な原因です。

※電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力の2016年度の値（0.553kg-CO2/kwh）を使用。

### 2) 電気使用量（目標：1.5%削減）

電気使用量は、目標基準値に対し0.75%増加いたしました。

### 3) 軽油使用量（目標：1.5%削減）

軽油使用量は、目標基準値に対し2.3%減少いたしました。主に警備設備部の車両に軽油車を使用しております。減少した理由に、エコドライブの実践と庄内地区の工事（修理）の減少が挙げられます。

### 4) ガソリン使用量（目標：1.5%削減）

ガソリン使用量は、目標基準値に対し15.8%と大きく減少しました。

減少した理由に、巡回業務の見直しとハイブリッド車の導入（2019年11月から）とエコドライブの実践が挙げられます。

### 5) 灯油使用量（目標：1.5%削減）

灯油使用量は、目標基準値に対し15.7%増加しました。

寒河江営業所が多くなっておりまして。尚、寒河江営業所は目標の基準値である2017年度の数値が1,4760であるのに対し、2018年度が2,5210、今年度が2,8260となっております。2017年度の使用が極端に少なくなっている状況なので、当時の集計時に数値を取りこぼしてしまった可能性も考えられます。来年度以降の灯油の目標基準値は2018年度のものに修正する事も検討していきたいと思っております。

### 6) LPガス使用量（目標：1.5%削減）

LPガス使用量は、目標基準値に対し13.8%減少いたしました。

シャワー使用の減少、給湯器及びガスコンロの適正使用によるものと考えます。

## 7-2. 廃棄物排出量

### 1) 一般廃棄物（目標：1.5%削減）

目標基準値に対し、30.8%と大きく減少いたしました。

気を抜くことなく分別の徹底を継続していきます。

### 2) 産業廃棄物（目標：1.5%削減）

目標基準値に対し49.1%減少いたしました。2018年度も19.7%の減少でしたので、2017年度の警備機器入れ替えによる廃棄量が極端に多かったものと考えられます。来年度以降の産業廃棄物の目標基準値は2018年度のものに修正する事も検討していきたいと思っております。

## 7-3. 総排水量・水使用量（目標：1.5%削減）

水使用量は、目標基準値に対し8.5%削減しました。今後も節水に留意し活動を継続し大切に使用します。

## 7-4. 自らの活動に関する項目

### 1) 山形スマートドライバーへの参加

山形スマートドライバー運動に参加しており、会社所有の全車両にスマートドライバーステッカーを貼付しています。車両運転者は1975年に制定した「運転の誓い」

を遵守し無事故運転に努めるとともに、思いやり運転に心掛け「急発進、急ハンドル、急ブレーキ」の3つの「急」のつく運転は行わないようにしております。

新規顧客先が多くなれば必然的に走行距離も増加しますが、警備員現任教育（法定教育年1～2回）などを利用しエコドライブの教育などを実施しております。また車の買い替え時、燃費の良い車両を導入します。（2019年11月ハイブリッド車導入）

## 2) グリーン購入

データ量は把握しておりませんが、今後事務用品以外も購入していきます。

## 3) 地域の清掃活動

企業行動憲章の一つに“地域社会における企業市民としての責任を自覚し、積極的に社会貢献活動を行う”ことを掲げています。毎月第3土曜日の朝6時から町内会清掃があり、その際は社員も参加し、草刈りや落葉集めを行っております。

（2017年2月10日、山形市を美しくする運動推進委員会（会長 山形市長）から、多年にわたる地域美化活動に対し功労表彰を受賞しています。）



「あかねヶ丘公園の清掃活動」

## 4) 紙のリサイクル

コインパーキング管理業務に伴い、多くの使用済み駐車券が発生します。これら用紙を一般廃棄ゴミに出さず直接溶解処理工場に持ち込み処理しています。

# 8. 環境活動計画の取組結果とその評価と 次年度の取組内容

## 8-1. 環境活動計画の取組状況の評価

[評価区分] ◎・・・良くできた ○・・・できた △・・・やや不十分 ×・・・不十分

活動・取組項目	活動の具体的内容	評価	
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	・不要照明の消灯	○
		・照明器具の改善	◎
		・OA機器 家電製品の待機電力の削減	○
		・冷暖房の温度管理 (冬20℃、夏28℃)	○
		・冷房機器の清掃	◎
		・冷暖房の環境向上	◎
	■エコ運転の実施	・経済速度の厳守	◎
		・運転記録票の記載	◎
・アイドリング時間の削減		○	
・エコドライブの教育研修		◎	
産業廃棄物排出量の削減	■廃棄物分別の徹底	・分別の徹底	◎
		・廃棄物置の整理	◎
		・リサイクルの徹底	◎
	■紙使用の削減	・印刷物の削減	◎
		・用紙の裏紙使用	◎
		・シュレッダーの削減	◎
総排水量の削減	■水道使用量の削減	・手洗い時の節水	◎
		・トイレタンクの節水	◎
	■地下水の適正使用	・利用目的に応じた適正使用 (洗車)	◎
グリーン購入	■グリーン購入の推進	・対象商品の選別	△
	■地下水の適正使用	・可能な限りグリーン商品の購入	○
エコ関連	■環境保全	・公園清掃活動	◎

## 8-2. 次年度の取組内容

■二酸化炭素排出量の削減	・クールビズ・ウォームビズの啓蒙
	・エコカーの導入計画
	・全社社内照明LED化計画
	・エコドライブの徹底
■廃棄物排出量の削減	・リサイクル品の分別徹底
	・ペーパーレス化の推進
■水使用量の削減	・節水グッズの導入
	・節水の徹底
■自らが提供するサービスの改善	・既存顧客への体温観測付顔認証システムの提案
	・社員専用 Web サイト構築による文書のペーパーレス化
■グリーン購入	・グリーン用品の購入
■社会貢献	・環境活動に積極的に参加

## 9. 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果

適用法令	適用範囲	法規の要求事項	結果
下水道法	有機物質又は油を排出した時	事故の届け出	○
消防法	事故の処置	消防署への通報	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物	保管場所表示、保管基準の厳守	○
		運搬・処分業者との委託契約	○
		マニフェストの交付・回収	○
		マニフェストの交付状況の報告	○
リサイクル関連	テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機	廃棄時リサイクル料負担	○
		適正処理	○
	自動車	新車購入時リサイクル料負担	○

### 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありませんでした。

関係機関からの違反等の指摘は過去3年間、1件もありませんでした。

# 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 10-1. 環境経営システムの有効性の評価

2019年度の「二酸化炭素排出量」は、2017年度(基準年)比10.4%減となり目標値を達成しました。使用量の項目ごとで見ると、ガソリン使用量は基準年比15.8%減、LPG使用量は基準年比13.8%減で削減目標を大きく上回ったほか、廃棄物の排出量でも、一般廃棄物排出量が基準年比30.8%減、産業廃棄物排出量も基準年比49.1%減と削減目標を大きく上回りました。これはエコアクション21が従業員に定着しつつあると捉えています。

しかし、昨年度と同様の項目(廃棄物、灯油)で数値が大きく上回っていたり、逆に下回っていたりするなど、基準年比との乖離が大きすぎるものが見られるため、基準とした年に「廃棄物を通年以上に処分していた」、「灯油を極端に使用しなかった」、「集計漏れがあった」などの要因も考えられます。これについて、環境管理責任者に対しては調査及び基準年の見直しを指示しております。

また、2020年2月に、これまで環境管理責任者であった設備部部長の武田の定年に伴って、環境管理責任者を業務部課長の向田に変更いたしました。これまで培ってきた環境経営システムの質が低下しないように継続して管理していくよう努力してまいります。

## 10-2. 環境経営システム変更の必要性

**環境経営方針：継続**

**環境経営目標：変更**

- ・基準年の見直し
- ・自らが提供するサービスの改善に関する目標の策定

**環境活動計画：変更**

- ・自らが提供するサービスの改善に関する活動計画
- ・プリンターインクカートリッジの削減

**環境経営システム：継続**

## 10-3. 次年度以降の取組の方向性

これまで培ってきた環境管理システムの水準を継続しながら、新たにレーザープリンターでのカラープリントの削減に取り組んでいきます。レーザープリンターによるカラープリントは、モノクロプリントが1工程で終了するのに対し、3工程を経る必要があ

り、結果モノクロプリントに比べて3倍の電気量を消費いたします。カラープリント枚数を月ごと集計し、朝礼での注意喚起によって削減を目指します。

また、自らが提供するサービスの改善に関する目標に、体温観測付顔認証システムを活用したセキュリティカード（タグ含む）レスな警備システムの提案と社員専用サイト構築による社内連絡網の強化に取り組んでまいります。